

羽曳野市中学校教育研究会「美術科」(美術部会) 活動報告

令和4年8月 中島 嵩(河原城中)

●はじめに

現在、羽曳野市には5つの中学校と1つの義務教育学校があり、美術科を担当する教員は7名である。今年度初め、5月12日に行われた市教研の場では、新年度の顔合わせ、役員(市代表など)紹介を行うとともに、昨年度の総括からの引き継ぎと今年度の研究課題について討議・確認を行った。その中で、昨年度より一層の活用が求められているタブレット端末(生徒一台貸与)を用いた授業実践について研究をすすめる必要があると判断し、夏に講習を行うことが決定した。

●活動報告

研修名:「GIGA 授業について」

開催日: 令和4年7月28日(木)

場 所: 羽曳野市立高鷲中学校

講 師: 新土 善生 先生(高鷲中)

活動内容について:

本市で生徒一台貸与端末として用いられているChromebookと、アプリ「Google スライド」を用いて、どのような美術科の学習活動ができるかを新土先生の実践発表を中心に体験・交流を行った。

新土先生からは3つの題材、

- ①「図の重なりを意識したポスター作り(練習)」
- ②「夏休みの宿題 部活動紹介ポスター」
- ③「色面構成 スライド版」が紹介された。

①の題材は、背景の透明化処理を行った複数の画像の順序(前後)などを編集しながら、もともなったポスターを再現するというものである。これによって画像の移動や拡大縮小、前後の順序を変更するという技能が、体験を通して理解・習得できる。

なお、背景透明化はウェブ上(HP上)で行える。

②の題材は、①の学習をもとに、生徒一人ひとりが部活動紹介というテーマでポスター制作を行うものである。

③の題材は、これまで色鉛筆で行ってきた色面構成を、「多角形」描画の組み合わせで作成した図を用いてデジタル塗り絵としたものである。配色の試行錯誤を容易に、短時間で行うことができる。

これら3つの題材紹介・体験の後に、各校での取り組みについても交流した。また、新たな課題として「評価」を討議する必要があると確認し、冬頃に次の研究会を行う予定を立てて閉会した。

